

科目名		病理形態学特論	
科目責任者		中山 敏 幸 (第2病理学 教授)	
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>病理組織学を基本に、組織形態や細胞形態から疾患を理解する。特に、疾患に特有の組織所見を全身臓器において理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 全身臓器の正常組織・細胞の種類およびその構造を理解し、概説できる。 2) 全身の各臓器毎に疾患の組織・細胞変化を理解し、概説できる。 3) 臓器および細胞の機能、およびその機能を担う分子を概説できる。 4) 臓器間の機能的関連を説明できる。 5) 臓器および細胞機能解析における病理学的アプローチの手法を説明できる。 6) 病理学的アプローチの意義と問題点を説明できる。 7) 臓器および細胞機能発現に関与する分子の動態を説明できる。 8) 臓器間および細胞間の情報伝達を概説できる。 			
● 評価方法	検討会での討論(40%)・発表(20%)・レポート(40%)等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

授 業 項 目 (内 容)

全身臓器の正常組織・細胞の構造

循環器系:心臓、血管

呼吸器系-1:上気道・気管

呼吸器系-2:下部呼吸器

消化管-1:上部消化管

消化管-2:下部消化管

肝・胆・膵系-1:肝臓

肝・胆・膵系-2:胆嚢・膵臓

泌尿器系-1:腎臓

泌尿器系-2:尿路・膀胱

生殖器系:男性・女性生殖器

神経系:中枢・末梢神経

皮膚、乳腺、感覚器系

骨、筋肉、結合組織系

細胞診断